



とんけし

学校の教育目標

- 思いやりのある子
- 深く考える子
- からだを鍛える子

富岸小学校 学校だより No.9 令和7年10月29日

← ホームページ http://www.noboribetsu.ed.jp/~tn_info/

学習発表会の取組から考える ～ご観覧、ありがとうございました

校長 小野島 晶

保護者・地域の皆様には、お子さんや学年の子供たちの表現する姿をご覧いただき、本当にありがとうございました。2週間過ぎてしまいましたが、この行事の取組から振り返りをしておきたいと思います。

昨年度の発表会で、“より日常学習を基にした発表内容・構成に見直しました。”とお伝えして2回目となりました。ご覧いただいた皆様に、子供たちの発表はどのように伝わりましたでしょうか。（既にアンケートにご回答いただいた皆様のご意見は拝読しました）

私たちにとっては、昨年度よりさらに改善が進んだと実感できる内容だったと受け止めております。ただ、学校の独りよがりにならぬよう、実際にご覧いただいた皆様からの率直なご感想・受け止めをぜひお聞かせいただきたいと切に願っております。

どの学年も、子供たちの発達の段階に応じた発表内容の構想から始まりましたが、

- ①子供たちがこれまでの学習で身に付けてきたことは何か
- ②それをどんな形で発表することができるか
- ③発表者・表現者の子供たちはどんなことがしたいと考えているか

といったことを考えつつ、学年段階に応じて、子供と教師それぞれの思いを調整しながら内容を創り上げていきました。

単に劇や歌・器楽発表という従来の枠組みではない、それぞれの学年が試行錯誤しながらオリジナルの発表に仕上げていく様子が、練習過程から様々に見られました。これは、私のこれまでの経験でもあまりないことでした。

限りある時間の中で、時にうまくいかず子供たちは話を重ねたり、練習中に激しく感情をぶつけ合ったり、イメージがうまくかみ合い精力的に練習に打ち込んだりと、いろいろなドラマがありました。当日の発表は1回きりですが、こうしたいろいろなできごとを乗り越え、子供たちは最後の発表に挑んだわけです。

主役である子供たちの当日までの頑張り、決して表現が得意でない子にとっては自分がどこまでできるかの心の調整や葛藤、学年全体としての協調性の発揮等、子供たちの努力と成長が一番の成果です。加えて、手前味噌になりますが、これら内容の調整や子供たちとのやり取り、練習計画や具体的な指導等は、学年の教師の努力によるものです。これも見事でした。これらが相まって、最高の表現になったと考えております。

（裏面へ続く）

過日、本校研修部長の宇南山がこの学校だよりでお伝えしたように、現在の学校教育の根本となる学習指導要領では、子供たちを「自立した学習者」として育成すべく、従来行ってきた教師の指導型（講義のような一斉指導）・子供の受け身型の形から、子供の主体的参加型・能動型の学習や教育活動へと転換を図るよう方向性が示されております。

日本の学校教育は時代とともに変遷を重ねて今に至りますが、近年の新型コロナ拡大や国の GIGA スクール構想に伴う一人一台端末の整備、オンライン環境などの充実により、社会の様子とともに、子供たちや教師に求められる力も大きく変わっています。

今後、特に考えなければならない視点は、子供たちが生きる社会の状況です。

社会の不確実性（どうなるか読めない）・**加速度的な変化**（物事が猛スピードで変わる）
・**一層のデジタル技術の発達**（パソコン等の端末は使えて当たり前）・**職業観の多様化** …

こうしたことは、皆様も感じられるでしょう。この先、子供たちが年齢を重ねて、社会の創り手として国を支えていく際、一人の社会人としての基本的なスキルや振る舞いを身に付けていなければ、社会で力を発揮できません。最近の若者の離職率を見れば、それは容易に想像できます。

ですから、小学校教育で必要と考えられるあらゆる内容の教育活動に、富岸小学校は本気で取り組んでいきたいと真剣に考えております。こうした社会の荒波に飛び込んでいく子供たちに、たくましい心身や自分なりの考え方・学び方・コミュニケーション能力などの基礎的な力を確実に身に付けたい。その必要性を、私たちは強く感じています。

6月の運動会、そしてこの学習発表会は、上で述べてきたことを念頭に取り組んできたものであることを皆様にはどうかご理解ください。今年度よりスタートした3年生以上で行う学年内教科担任制の取組も、この流れに沿うものです。

子供たちの成長につなげる創造的な教育活動の展開。これを本気で行う富岸小学校、そして主役の子供たち、伴走する教職員をこれからも温かく、そして力強く応援していただきますようよろしくお願いいたします。

笑顔いっぱい新たな富岸小まつり ～取組・ご来校に感謝

25日（土）に行われたまつりは、PTA改革の流れで行う初めての機会でした。役員さん・まつり委員さん・サポーターさん（キッズ含む）が中心となり、できる限りのことをしようと、計画的にお一人お一人ができる範囲で企画・運営参加する形でした。運営された皆様、子供たちのため本当にありがとうございました。

当日、来校した児童の笑顔、友達との楽しそうな様子、そして運営された方の笑顔、主体的な動きや熱心な関わり、どれも大変温かな気持ちになるものばかり。こうした「手作り感のある思いを込めた富岸小のPTA行事」はとてもいいなと改めて実感しました。

手探りの取組になりましたが、十分次につながる内容だったと受け止めております。保護者の皆様の少しの前向きさがこうした有意義な時間を生みます。学習サポーター等、新たなPTAとしての活動が少しずつ広がりを見せ、効果も得られています。まだの方は、ぜひできる範囲で、一緒に取り組んでみませんか？